

おかぬみ

OKANAMI
vol.65

2023/1

2023年1月開院
新病院特集



新病院が開院いたしました

理事長・院長 猪木 達

明けましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

長年にわたり準備を重ねて参りました病院移転が、無事完了いたしました。地域の医療機関の皆様方、関係機関の皆様方にはご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当院の歴史は、猪木久馬三が1898年(明治31年)に伊賀市岡波(旧名賀郡比自岐村岡波)の地で診療所から病院に組織変更し猪木病院の誕生とともに始まります。その後患者が急増するなか、機能を拡充しようと決意した久馬三は、1906年(明治39年)産婆看護婦養成所(現岡波看護専門学校)を設立、さらに1922年(大正11年)伊賀市桑町へ移転、名称を「岡波病院」へと変更いたしました。移転には、住民から「なんとか岡波村にとどまってくれ」との慰留を受けましたが、「伊賀全体の人々のために上野町へ行く」という説明と約束がなされたと伝えられています。

そして桑町では、岡波での約束を胸に代々の経営者と職員が一体となって、伊賀全体の医療・介護を101年にわたり懸命に支えてまいりました。めまぐるしく変化する医療環境に対応しながら、診療機能や病床数を段階的に拡充させ、地域の基幹的役割を担うまでになりました。桑町での歴史は、地域の方々のご支援とそれに応えようとした多くの職員たちの努力が創り出してきたものであると考えており、感謝に堪えません。

新しい病院は、さまざまな効率化を重視し設計いたしました。緊急患者様の搬送動線、看護師などが患者様へ駆けつけ見守るための移動動線、検体などの安全な輸送動線など、効率的で安全な医療が提供できるよう工夫がなされています。

しかし効率化やハード整備だけでは、良質な医療・介護は提供できません。提供の担い手は、「人」です。これまでもこれからも人が良い病院をつくるのです。

幸い当院には創設時からの精神を歴史のなかで脈々と受け継がれた職員たちがいます。これからも人を大切に、人が信頼し合い生き生きと活躍できる環境の整備が必要です。そして、その職員たちと一緒に強い使命感をもって伊賀の医療・介護を守っていく所存です。今後とも宜しくお願い申し上げます。

一世紀にわたり伝統を守りながら、
伊賀地域の皆様のために医療の充実を目指してきました。

明治31年 4月 猪木病院より病院組織に変更

大正11年 2月 伊賀市岡波から現在の桑町に移転 岡波病院創業

昭和38年 6月 総合病院の認可取得

45年 8月 本館病棟(RC5階建)完成

46年 4月 特定医療法人の認可取得

平成元年 9月 介護老人保健施設おかなみ設立(100床)

医療法人社団 岡波総合病院名称変更

4年 7月 B館病棟増築(RC4階建)完成

7年 4月 在宅介護支援センターおかなみ開設

9年10月 介護老人保健施設第2おかなみ設立(150床)

10年 3月 訪問看護ステーションおかなみ開設

11年 9月 居宅介護支援事業所おかなみ開設

12年 2月 療養型病床群(医療型)許可取得(50床)

許可総病床数合計339床

3月 ヘルパーステーションおかなみ開設

16年10月 厚生労働省臨床研修病院指定

17年 5月 日本医療機能評価機構認定(Ver.4.0)取得

6月 介護老人保健施設伊賀ゆめが丘設立

22年10月 日本医療機能評価機構認定(Ver.6.0)取得

24年11月 社会医療法人の認可取得

26年 7月 地域医療支援病院承認

27年 8月 日本医療機能評価機構認定(3rdG:Ver1.1)取得

28年 9月 訪問リハビリテーションセンター開設

令和元年 5月 岡波総合病院リハビリテーションセンター開設

3年 2月 日本医療機能評価機構認定(3rdG:Ver.2.0取得)

5年 1月 桑町から上之庄へ移転



明治31年7月 猪木病院竣工式



明治39年 看護婦養成所卒業式



大正11年2月 岡波病院竣工式

新任医師



なかじま つかさ
中島 司 医師

脳神経外科 令和4年9月1日 採用

新型コロナの流行前は、よく城巡りなどをしていました。この度は歴史ある町に赴任することになり、大変光栄に思っています。地域の医療に貢献すべく、精一杯やっていきたいと思っていますのでよろしくお願ひいたします。

新病院 通常外来 2023年1月4日スタート

■ 新病院への交通アクセス

三重交通バス

三重交通伊賀名張線で「岡波総合病院前」バス停が創設されました。

近鉄大阪線名張駅、桔梗が丘駅、伊賀鉄道上野市駅、JR伊賀上野駅からの路線バスでのアクセスが便利です。

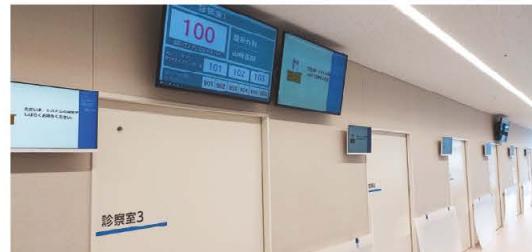
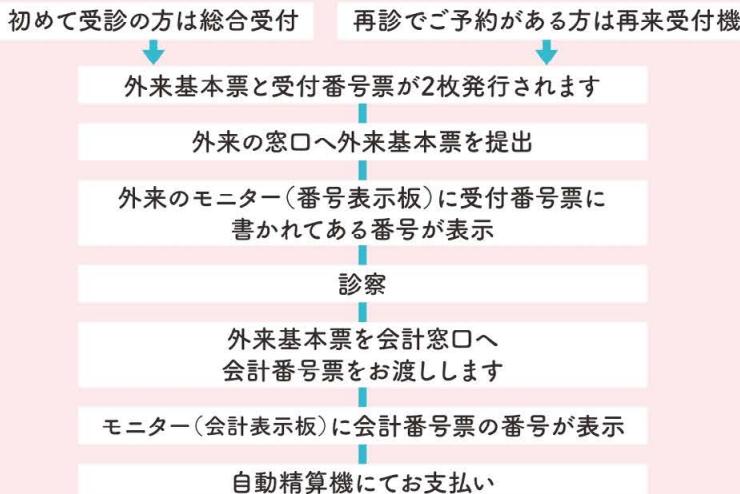


旧病院～新病院シャトルバスを創設いたしました。

旧病院敷地内（看護学校横）と新病院前を365日往復します。時刻表の詳細は、病院ホームページをご覧ください。

新しい病院に、取り入れた機能や設備、設計上の工夫や特色についてご紹介します。

外来診察の流れ



番号表示板



自動精算機

■ 中央検査部も新しく生まれ変わります。

採尿（検査）トイレ

今まで和式2ヶ所でご不便をおかけしておりましたが、男子トイレは小便用2ヶ所・洋式1ヶ所、女子トイレは洋式2ヶ所、多目的トイレ（車いす用トイレ）は1ヶ所です。採血室受付の右横にあり、採血室受付にてお名前付きの採尿コップを受け取ってから採尿トイレへ向かいます。採尿後、男女、多目的トイレそれぞれの奥の棚へ提出していただきます。そちらにはお名前付き紙コップのみ置いていただきます。



生理検査室

今までの心電図室に加えて、心エコーヤトレッドミル検査、脳波室や筋電図室が集約されます。今まで遠く離れていた心エコー検査と心電図検査がスムーズに行えるようになります。



新病棟・設備のご紹介

MRI検査

この度、新規導入しましたGE社製MRI装置は、最先端技術を結集し、より患者さまの負担を軽減すること、より質の高い画像を提供すること、より簡便に操作できることをコンセプトに開発された装置です。

柔らかくて軽いAIRコイルは患者さまの苦痛を軽減し、検査時間も短縮します。ディープラーニングを用いた画像再構成技術は、ノイズの少ない高画質の画像を提供することにより正確な診断に寄与します。

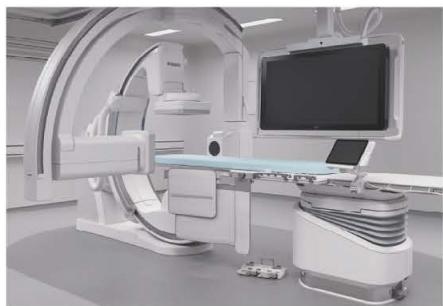
これまでの1台体制から2台体制になることにより、待ち時間が大幅に短縮され、よりタイムリーな診断に貢献できるものと考えています。



血管造影装置

血管造影装置は、血管自体を撮影することにより病気を診断したり、血管内に挿入したカテーテルから治療する、いわゆる血管内手術をサポートするための装置です。

この度、新規導入しましたフィリップス社製のアンギオ装置は最新の技術を結集した装置であり、今まで見ることが困難であった非常に細い血管も明瞭に観察することが可能となり、血管内治療を確実に安全に施行することができるようになります。



アンギオ

X線という放射線を使うことから、難しい治療になるほど検査時間が長くなり、その分、患者さま、術者とも放射線被ばくも増えますが、本装置は最新治療に対応した新しいアプリケーションを導入しているため、高画質の画像を提供しながら放射線被ばくも低減することができます。

血管造影装置は、心臓専用装置と頭・腹部用装置の2台体制となり、命に係わる緊急処置にも迅速に対応できるようになります。

リハビリテーション

リハビリテーション科は旧病院の1.3倍の607m²を有し、主に運動療法エリア、ADL(日常生活動作訓練)エリア、作業活動エリア、心臓リハビリエリア、言語療法エリア、屋外テラスエリアの6つのエリアに分かれています。

それぞれのエリアでは最新の評価や治療機器を整備しており、運動療法エリアには安全に歩行できるように天井からレールを敷いた安全懸架装置。作業活動エリアには障害者の運転能力を判定するドライブシミュレーターなどが導入されています。また屋外テラスエリアでは様々な歩行訓練や車いす訓練が可能な設備が整えられております。これら充実した設備により、超急性期から生活期まで様々なステージの患者さまや種々の疾患の患者さまに応じたりハビリを提供できます。

安全懸架装置とは

セーフティーサスペンションシステム、「バランスを崩しても転倒しない」ことを目的とした装置です。患者さまに専用ハーネスを装着し、天井に設置したレールに沿って歩行練習を行います。



ADL室



ドライブシミュレーター



安全懸架装置

■救急外来

救急救命室(Emergency Room:通称ER)は、救急車で搬送された患者さまを受け入れる初療室3室、時間外に来院された患者さまの診療を行う診察室3室、点滴室などがあります。

また緊急的な搬送が迅速に行えるよう、放射線部と隣接、救急専用エレベーターで3階の手術室や血管造影室と直結しています。



初療室



点滴室



救急車専用出入口

■集中治療室(ICU)

10床のベッドを有する集中治療室(Intensive Care Unit:通称ICU)は、新設された部門です。内科系や外科系を問わず、高度な治療や全身管理が必要な患者さま、手術後や状態が急変した患者さまを収容します。

手術室や血管造影室と隣接しているため、協力・協働体制がより強化できる体制を整えました。中央部門で集約することにより、より高度な治療の提供やチーム医療を実践します。



■手術室

手術室は旧病院の5室から6室に拡大しています。ICU、血管造影室と隣接しており、より高度な急性期医療を提供する体制を整備しました。また、無菌手術を行うバイオクリーンルームや、感染症手術に対応するための空調設備も導入しました。

今後は患者さまがより安心して手術を受けていただけるように麻酔科医師による術前外来や手術室看護師による術前訪問を充実します。



■病棟デイルーム

各病棟のデイルームではお食事やくつろぎ、面会などご利用いただいたり、病棟ごとのイベントにも活用したいと思っています。全面の大きな窓から見える青山高原の風車や山々を一望しながら季節を感じていただけます。



■ 病室

患者さまへのメモや写真を貼ることができるマグネットボードやベッドサイドでスタッフが患者さまの情報をモニターで確認するスマートベッドシステムを導入します。スマートベッドシステムは、患者さまごとの食事制限や安全な移動方法、ベッド姿勢を表示し、職員間の情報共有などを確実に行えるようにするものです。

多床室の窓にはカウンターを設けていて、外の景色を眺めながらお食事をしたり、同室者やスタッフとの会話を楽しむ空間となると思います。また、ベッドはプライベート空間を確保しつつ、採光や風景を遮るカーテンの使用を最小限にしたいと考え、間仕切り家具を設置しました。



スマートベッドシステム



多床室



多床室

■ 介護老人保健施設おかなみ

介護老人保健施設おかなみは、ひきつづき在宅復帰を中心とした入所療養サービスを提供してまいります。病院と同一建物となり、病院退院時の受け入れや入所療養中の医療との連携がスムーズに行えるようになります。

最上階からの絶景を眺めながら、落ち着いた雰囲気での療養や広々とした訓練スペースでのリハビリに取り組んでいただくことができます。天窓から陽光が入り開放的なフロアではレクリエーションや趣味に取り組めます。

身体状態に応じた特殊浴槽は、チェア浴槽2台、ストレッチャー浴槽1台を設置しました。またスロープ付きの大浴場もあり、ゆったり広々と入浴を楽しんでいただくことができます。



食堂



特殊浴槽

■ デイセンター

デイセンターは、介護保険で利用できる施設です。在宅生活を送るなかで、介護やリハビリ等を必要とされる方がご利用の対象になります。

①短時間デイ（しっかりリハビリ型）

リハビリと健康チェックのみのプランとなり、リハビリに特化しています。

②長時間デイ（ゆったり一日型）

リハビリ、健康チェック、食事、入浴等を行うプランで、一日ゆったりとお過ごしいただけます。



一般浴槽

どちらのプランも、ニーズや利用の目的を利用者様と共にし、個々に応じたサービスを提供いたします。利用者様にもご家族様にも満足していただける施設を目指して、職員一同まごころを込め業務に努めます。

住み慣れたご自宅で、その人らしい生活を長く続けられるよう支援させていただきます。ご利用の希望がございましたら、担当のケアマネジャーにご相談ください。





忍者トレイルランニングレース 2022

看護師長 深谷 昌子

全国から集まったランナーが紅葉で色づきはじめた山々を駆け巡る「忍者トレイルランニングレース2022」が11月6日に開催されました。今年で4回になりますが、感染対策を行いながら、3年ぶり待望のフル開催となりました。

忍者トレイルランは、伊賀市にあるさるびの温泉を発着として西教山・靈山を走るイベントです。また、そのランナーを応援するために地域の人たちがスタッフとして参画し、伊賀を楽しめる仕掛けやおもてなしを提供します。

岡波総合病院は本大会へ協賛し、ブースの出展とエイドステーション(救護)も担当しています。施設課

福谷係長を中心に医師1名、看護師10名、臨床工学技士2名が一丸となり『TEAM OKANAMI』と掲げ、救護に臨みました。500名以上のランナーに補水食活動を行い、負傷者の救護にあたりました。お天気に恵まれ、大きな負傷者もなく終えることができました。

私たち医療者がこのような地域イベントに参画することで、地域住民の健康活動の一助となり、生活の活性化に繋がることを実感いたしました。素晴らしいイベントに参画できたことに感謝し、さらなる地域貢献を目指し、これからも活動の輪を広げていけたらと思っています。



おかなみ出前講座

10月12日

月ヶ瀬福祉センター様



テーマ

自宅でできる膝の体操

講師

理学療法士
東 真衣・木下 日菜子

10月17日

島ヶ原まちづくり協議会(健康福祉部会)様



テーマ

脳卒中予防について

講師

脳卒中リハビリテーション
看護認定看護師 東雲 洋美

10月26日

かがやきサロン様



テーマ

自宅でできる膝の体操

講師

理学療法士
佐藤 雄介・前川 拓也

10月28日

紅つつじ様



テーマ

いつまでも元気で生活するために

講師

老人看護専門看護師
市川 智子